

令和4年度地域部活動推進事業（文化部）

1 事業概要

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、子どもたちの継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保するとともに、学校における働き方改革を推進できるよう実践研究を進める。昨年度の県指定取組校の実践をもとに、休日の部活動の地域移行を推進するための7つの視点〔①教員の働き方改革（業務改善・意識改革）、②地域指導者の確保、③活動場所の確保（学校を開放する場合の管理、地域の施設利用等）、④教員（顧問）以外による大会等への引率、⑤教員（顧問）と地域指導者等の連携、⑥地域指導者等への研修の実施、⑦費用負担のあり方〕をもとに取組を進め、その成果と課題を検証する。

2 取組内容

市内中学校 1校 吹奏楽部

地域部活動指導員により、休日を中心とした部活動指導を行う。

3 期待される成果

○地域人材を活用した休日部活動の円滑な実施

○休日移行等による担当教員の業務改善

○校内及び市内教員の意識改革

<目標の検証>

○教員の勤務時間の調査（本事業実施前の勤務時間との比較）

○生徒、保護者等、関係者へのアンケート調査の実施

○（研究推進委員会等による）定期的な情報交換会の開催

○県が主催する専門家会議での検証

4 今後のスケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
部活動指導者による指導	●									→
生徒等へのアンケート		●①							●②	
勤務時間調査		●①							●②	
市教委との情報交換	●①			●②			●③			●④
市内担当者への情報発信				●①			●②			●③

## 令和4年度地域部活動推進事業 実施要項（案）

### 1 趣 旨

子どもたちの継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保するとともに、学校における働き方改革を推進できるよう、令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、体制の構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うため、指導や大会の引率を行う地域人材の確保、移動手段の確保、平日の学校部活動との連携・協力体制の構築、コーディネート、それらにかかる費用負担のあり方等の課題解決を目指す事業実施体制について研究する。

### 2 研究組織

〈専門家会議（県主催 年3回実施）〉

県内各地域における休日の部活動の段階的な地域移行に向けた体制の構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備等、地域部活動のあり方について検討するとともに、研究指定校及び地域部活動推進委員会における調査・研究について検証を行う。

〈地域部活動推進委員会（市町主催 年3回実施）〉

休日部活動の地域移行に向け、関係者や関係機関等と連携を図りながら、指導や大会の引率を行う地域人材の確保、移動手段の確保、平日の学校部活動との連携・協力体制の構築、コーディネート、それらにかかる費用負担のあり方等について調査・研究する。

### 3 指定市町

2市町

### 4 指定年度

令和4年度

### 5 研究内容

(1) 地域人材を活用した休日部活動に向けた協力体制

- ・生徒の指導や大会の引率を行う地域人材の確保及び移動手段の確保
- ・定期的な情報交換による平日の部活動との円滑な連携に向けた指導内容・指導方法の共有
- ・教員と地域指導者による合同研修会実施 等

(2) 休日移行等による担当教員の業務改善

- ・教員と地域指導者の役割の明確化
- ・教員の勤務時間の調査（事業実施前後の比較） 等

(3) 地域移行に向けた支援の在り方

〈地域部活動推進委員会による支援〉

- ・学校安全に関する責任体制の整備
- ・関係団体との調整
- ・学校関係者等との情報交換会の開催及び指導助言
- ・費用負担のあり方

〈市町教育委員会による支援〉

- ・検証に向けたアンケート（生徒、保護者、部活動指導者、学校関係者）の作成、分析
- ・研究校の成果の周知
- ・研究校以外での実施に向けた地域人材等の発掘及び連携体制の研究 等

### 6 研究内容の検証

専門家会議において、以下の調査等を基に成果及び課題について検証を行う。

- ・教員の勤務時間の調査（本事業実施前の勤務時間との比較）
- ・生徒、保護者等、関係者へのアンケート調査
- ・地域部活動推進委員会による定期的な情報交換
- ・ガイドライン等を踏まえた適切な部活動の運営の遂行の確認